

図書館

第 3 号
だより

編集兼発行 三重短期大学附属図書館

514-01

三重県津市一身田中野字蔵付157

1982・6・25発行

TEL 0592
32-2342

目次

| | |
|------------------|-----------|
| 図書館長就任の挨拶 | 岡本裕次 (1) |
| タスマニアからこんにちわ | 宮本忠 (2) |
| 記憶の中の本棚 — 妹の絵本 — | 内村瑠美子 (4) |
| 古今東西あれこれ | 角田保 (5) |
| 読書について | 竹川郁代 (6) |
| 私と児童文学 | 田口悦子 (7) |
| 新規受入図書案内 | (7) |
| ベスト・セラズ | (12) |

図書館長就任の挨拶

岡本裕次(附属図書館長)

前館長・瀬島順一郎氏(現大阪産業大学)の任期満了のあとをうけ、ふたたび(かつて5152年兩年度にわたって1期努めたことがある)この4月から館長の職を命ぜられ、お受けすることと相成った。生来読書好きだし、したがって本は好きである。金がなくともどんどん本は買ってきたし、買っている(もちろんこのことで他人様に御迷惑をおかけすることはないのだが、家族には随分迷惑をかけていると自負してはいる)。いくら買っても仕事柄図書館を利用しなければ、それもうまく利用しなければ仕事にならない。このことにより図書館学の道へと誘われ、某大学司書コースの「目録法・分類法」「参考業務」などの演習に参加もしたし、書誌学には格別の関心をもつにいたり(書誌と研究者の有機的結合こそ一級の研究成果を産する唯一ではないが重要な法と思うのだが)「社会科

学ドキュメンテーション」講習会にも参加したことがある。もちろん現在も強い関心のもと図書館学一般、わけても書誌学の勉強は続けている。大学のスタッフである以上、かかる関心をいだかぬものはないし、それぞれ勉強もされている。ましてやわが大学のスタッフにおいておや。つまりわが大学には館長職の適任者は他にいくらでもおられるということだ。その中で斯学についてもっとも勉強で、したがってただいま勉強中なるがゆえに叱咤激励の意をこめて、斯職を命ぜられたものと勝手な解釈をして、おこがましくもお受けした次第。

お受けして、さて図書館の最高責任者として何をなすべきかについては、かつての経験もあって一応目安はたつ。すなわちそれは図書館がその社会的役割を果すために組織体としてその諸機能を発揮しうるよう誘導することこれであると。ここに図書館の機能とは、元来、人と資料及びそれに記録されている内容との結びつきを広め深めるといふ媒介機能にあるのであって、それは資料の保存と利用の両面を含むものである。したがって、これを図書館の基本的活動か

らすれば、(1)文化的機能、(2)教育的機能、(3)社会的機能の三つに分れる。(1)は図書館資料の提供、(2)は学生・教職員等への援助、(3)は施設・設備の提供をその内容としている。

かくして、これらの機能を十二分に発揮させるのが図書館の使命であるとして、それではそれらをどこから如何なる方法でなせばよいのか。これこそがいままさにつきつけられている切実なる課題であり、したがって思索・頭痛の種なのである。以前(本誌創刊号において)大学図書館の機能が一般的にその行・財政の貧困のゆえに麻痺しており、ましてわが大学においておやということを明らかにし、大学行・財政の改革・改善こそが唯一その法であることを記しておいた。この考えはいまなお変わらずにいる。しかしここに問われる方法は、さらにその大学行・財政の改革・改善の方法でなければならない。マイナスシーリングの声をきく事態でなくとも、これが個人の力の及ばない課題であることは明白だ。したがって大学設置者当局はいうまでもなく、関係諸機関ならびに関係者各位に対し、適切な御指導・厚い御支援を賜わりたく、乞い願う次第である。

もちろん大上段に立っての難題のみが図書館のすべてというのではない。現況においてなしうる、またなさねばならない小さな問題が山積されていることも周知の事実である。それらについては早速にもひとつひとつ着実に対処すべく努力いたしたい所存である。関係要路の細部にわたる御指適・御指導及び御支援を賜わりたく、重ねてお願いいたし、就任の挨拶にかえたい。

(1982年6月25日)

タスマニアからこんにちわ

宮本 忠(法経科教授)

この原稿は、昨年9月から、海外特別研

修員としてオーストラリアのタスマニア大学に出張中の宮本忠教授が、約半年前本冊子のためにしたためて下さった「オーストラリアの大学図書館だより」である。本冊子第2号掲載を予定して送って下さったのであるが、わずかに間にあわず本号に掲載させていただくことと相成った。ために時候の挨拶など時期を逸したところがあり、教授にはおわび申し上げるとともに、読者には御諒解賜わりたい。(附属図書館長)

拝啓

みなさんからの便りによりますと、日本の今冬は厳寒であるとか。三重短大のみなさん、お変わり御座居ませんか。くれぐれも、かぜなどめされませぬよう御願ひ申し上げます。

異常気候が続いているのでしょうか。現地のテレビや新聞などのニュースには、日本の天候の様子は殆んど登場しませんが、(他の日本に関する報道は私が6年前に過したイギリスよりはるかに多いのですが)、イギリスやアメリカの強烈な寒さや積雪による被害が、たびたび報道されております。これと対照的に、オーストラリアでは、唯今、夏のだ真中。所によっては46℃を記録し、猛暑ゆえの被害を出しています。このような高い気温は約30年ぶりのことですので、ここでもやはり異常気候というべきでしょうか。天候の話さをさらに続けましょう。

オーストラリアの天候は実に変化に富んでいます。例えば、「アデレード(南オーストラリア州の首都)できょう44℃を記録しました」とニュースで伝えられ、「へえー」と驚いていると、翌日には23℃に下がってしまうという有様です。私の住んでいるホバードでも然りです。昨日28℃かと思うときょうは17℃といった具合。昼夜の気温の差も激しいし、今、太陽がガンガン照っているかと思うと、次の瞬間にはシャワー(にわか雨)という次第。こんな状態ですので、洗濯好きのうちの奥さんは大変困っています。私にしても老化現象のためか、この

天候の激しい変化に身体がついて行かず、こちらへきて、すでに3回もかぜをひいてしまいました。昨年の9月半端に現地入りしたのですから、滞豪4ヶ月内に3回もかぜにかかったことになり、おおげさに言えば、滞豪以来、ずつと、オーストラリヤかぜとつき合っていることになります。

次に、私が特別研究員として仕事をさせてもらっているタスマニア大学のことについて触れてみましょう。

タスマニア大学は、タスマニア州の首都ホバードにあります。そしてタスマニア州は、オーストラリアの6つの州の中で最も小さな島の州です。面積、人口及び人口密度から、日本とタスマニア州を比較しますと、同州の面積は67,800 km²で、四国と九州をあわせた面積63,179.07 km²よりやや広いところですが。人口はタスマニア州417,700人(昭和54年6月現在)、四国・九州13,804,172人(昭和54年10月現在)で、従って人口密度は、前者6.16人/km²であり、後者は218.49人/km²です。正月休みに友人から車を借りて、タスマニアをまわりました。人が本当に少ないことを身をもって体得しました。また、ホバード市は、人口162,660人(昭和54年6月30日現在)、面積940 km²であり、人口はタスマニア州全体の約40%をしめています。これと人口規模で類似している我が三重短期大学の設置者である三重県の県都、津市と比較してみますと、津市の人口は144,587人、面積101.63 km²であり、その人口は三重県全体の約10%をしめているにすぎません。つまりホバードにタスマニアの人口が集中しているわけです。それでもホバードの人口密度は173.04人/km²であり、津市の人口密度142.268人/km²と比べると、津市の密度がはるかに高いのです。私の感覚からすれば、津市は日本の他の県都と比べて、むしろゆったりした感じの都市です。みなさんも、多分、そうした感じを津市に対して持っておられると思います。その感覚でタスマニア州、あるいはホバードを想像してみてください。いかに

人が少いかということがおかると思います。

タスマニア大学はそんな所に建立されている、タスマニア州では唯一の、そしてオーストラリアの大学の中では比較的少規模な大学の一つなのです。しかし創立はオーストラリアの大学では最も古い大学の1つであり、1890年のタスマニア議会法でつくられました。だから、あと少しで創立100年を迎えることとなりますから、日本の古い大学とその歴史はそんなに変わりません。

タスマニア大学の登録学生数は、昭和55年4月現在、上級博士2名、Ph. D146名、修士357名、優等学士(4年制)122名、学士(3年制)3,670名、その他785名、合計5,082名です。専任教員数は296人(内教授39人)です。学部等(環境研究センターのように大学院学生のみを受け入れる所もあります。環境研究センターについて、詳しくは『三重法経セミナー1-2月号』以降を見て下さい)には次のようなものがあります。

農学部、教養学部(古典学科—古代文明コース、ギリシャ語コース、ラテン語コース、英語学科、歴史学科、司書学科、現代語学科—フランス語コース、ドイツ語コース、イタリア語コース、日本語コース、ヨーロッパ文学コース)、政治学科(行政学を含む)、哲学科、心理学科及び社会学科、経商学部、法学部、医学部、タスマニア音楽部、科学部(生物学科、化学科、地理学科、地質学科、情報科学科、数学科、物理学科及び動物学科)、タスマニア芸術学部、教育センター(教育学部)、工学部及び環境科学センターです。

最後に、大学の教育・研究にとって必須の機能である図書館について見てみましょう。

タスマニア大学の図書館は、中央図書館といくつかの支部図書館から出来上っています。中央図書館をモリス・ミラー図書館と呼んでおり、また支部図書館として、法学図書館、生物医学図書館、臨床医学図書館、工学図書館など8つあります。座席数は、中央図書館で564、支部図書館404の計968、蔵書数は、中央図

書館で285,369冊、支部図書館201,156冊で、計486,525冊です(昭和55年12月31日現在)。

ところで、日本からの情報によりますと、名古屋大学(学生・教員約1万5千人)の新図書館が昨年(昭和55年)の9月7日にオープンしたそうですね。新名大図書館は、鉄筋5階建、延べ約1万㎡、蔵書数約140万冊だそうです。この図書館の特色は、5階にコンピュータ室があって、図書館機能の充実のためにコンピューターが大幅に使われているとのこと——例えば、入館や貸出において。また日本の文部省では、昭和59年までに東京にコンピュータ・センターを設置して、全国19の大学図書館をオンライン化するというのもききました。現代の情報量は膨大であり、これをいかに収集・整理して行くかが私たち研究者の大課題になっているとき、大学図書館のこうしたコンピューター・システム化が、学生・研究者の大きな助力になるとよいと思います。

ここタスマニア大学図書館でも、やはりコンピューター化が進められています。オーストラリアの大学の中では最も進んでいるといわれているほどです。タスマニア大学中央図書館のモリス・ミューラー図書館では、今までに、20万Aドル(約5千5百万円)を投じてコンピューター装置を取り付けてきましたが、さらにこれを充実し、完全にコンピューター化しようとしております。今後3年間に8万Aドル(約2千万円)をかけて、従来のシステムをさらに拡大しようというわけです。そして、今まで、大学コンピューターシステムの一貫となってきた大学図書館のコンピューターを、大学図書館独自の観点から運営しようとしているのです。今日、タスマニア大学全学のコンピューター・システムの内、大学図書館がその20%を占めるようになってきており、その需要が、大変ひっ迫してきたのだそうです。今後、大学中央図書館とその支部図書館、そしてタスマニア州立図書館とをオンライン化する予定であるようです。また、大学内において、図書館の利用が効率的か

つ容易になるように、キャンパス内に、100の端末機を設置することです。環境研究センターにはすでに端末機が設置され、利用されています。

他のオーストラリアの大学図書館についても、コンピューター化が進められているようです。近い将来、オーストラリア国立大学(キャンベラ)がキー・ステーションになり、全オーストラリアの大学図書館をオンライン化することですから、こうして図書館もどんどん現代化して行くわけですね。もっとも、いかに大学図書館が現代化し、機械化され、かつ充実しても、教育・研究は、学生・教師の手仕事であることに変わりはないと私は信じていますがね。

今日は、タスマニア大学、その図書館などについて、したためました。何かのお役に立てば幸甚です。

まだまだ、寒さが続くと思われます。くれぐれも御身体御大切に下さいますように。南極に最も近い都市、真夏のホバードからお便り致しました。

敬具

昭和57年1月25日 (タスマニア大学環境センター客員用研究室にて)

記憶の中の本棚一妹の絵本一

内村 瑠美子(法経科助教授)

本の思い出ということになれば、その本の内容と密接にかかわって知的軌跡をなす思い出がやはり正当なものなのだろう。けれども内容は別にしても、一冊の本とのめぐりあわせは、きっとその時の自分の在り方とからみあっているものだから、過去の一冊の本を思い出すことが、過去の自分の姿を思い出すことにつながることもある。そういう記憶の中の本を何冊かとりあげて自分の背後を振りかえってみたいと思ったのである。

記憶のいちばん奥にある本は、妹の絵本である。妹と同じくらいうっとり眺めた絵本であるけれども、妹に買い与えられた本だから、やはり妹の絵本である。私は6才、妹は2才だった。この伝でいくと、「私の本」の思い出は小学5年まで待たねばならない。私の記憶力は実にひどいもので、幼年時代はおろか、現在にいたるまでの時の流れのほとんどは茫々と白い闇につつまれていて、こういう仕儀になるのである。

私が6才ということは昭和22年である。戦後も間もない時期だから、食べることに事欠く毎日で、当時の食事といえばスイトン——これは好きだった——。乾したトウモロコシを茹でたもの——嫌いだった——赤い筋の入った臭い外米——泣き出すほど嫌いだった——こんなものしか思い出せないほどである。そういう生活の中である日、出張していた父が妹に動物の絵本を買ってきた。父は貧乏なくせに、日頃もよくお土産を買ってきたと記憶している。お土産といってもたいはアメで、その中でもつやつやと赤いりんごの形のアメが、きれいで嬉しかった。まず短いマッチの軸のような柄を唇にはさんで——おくちに——りんごがなりました——とデタラメに歌いながら両親や兄たちのあいだをひと踊りしてから、おもむろに本体の方を口に入れる。それほど嬉しかったものだ。それくらいだから、きれいな色刷りの動物の絵本はお土産としては超豪華版だったのである。しかもこの絵本は、1ページにキリンならキリンが大きく描かれているところは変りばえしないのだが、その下にキリンと書いていのでなく GIRAFFE と英語で書いてあったのである。カタカナでジラフとルビがふってあったから、日本の絵本にはちがいない。敗戦直後の物資不足の時代に、これはまたずいぶんハイカラな絵本であった。父が英語の教師だったからこんな絵本を買ってきたのかもしれない。それにしても英語はわずか2年前までは敵の言葉として徹底的に憎悪されていたはずである。それが敗戦と同時に絵本にいたるまでアメリカさまさま

になったということだったのだろうか。そうだとすると、以後今日まで生活のあらゆる面で雪崩のようにアメリカナイズされていった日本の戦後に、私は絵本をとおして6才で具体的に触れた、ということになる。

もちろん、6才のあの日の私は、兄たちがくちぐちに読みあげる動物の名をまだよく口のまわらぬ妹と2人で、美しい絵本に見惚れながらジラフ・ビック・モンキー……と口真似してただけである。

古今東西あれこれ

角田 保（家政科教授）

古いものを求め新しきものを知ったり、東洋、西洋の相違、南や北のあれこれ、ということとで、与えられた字数で思うままに書き、感想も添えて図書新聞発刊の責務を全うしたいと思います。

1 読書について

私も、近年外国旅行に病みつきしました。英国、仏国等を訪れて感じたことは、公園のベンチ、エッフェル塔の広場等でお年寄の方が（婦人も男の方も）本を広げ一生懸命に何時の間も読みふけている光景を見ている。日本人は地下鉄の中、電車の中でそんな光景に接する。日本人は公園のベンチは男女の話し合う場に変化しつつあるようだ。

読書は週刊誌だろうが単行本だろうがそんなことは問題にしていない。小さい子供の頃、「のらくろ」マンガを読んだ頃を思い出している。

2 図書館の学生利用について

三重県立図書館も借楽公園の入口にあるが、日本全国のランクも最後から2番目位である（蔵書の数）。ところが夏休みは高校生や一般人で満員である。宿題をする関係もあろうが、クレーマーが入っているせいもあろう。学生（短大・大学）が入館する余裕はないようだ。それじゃ三重短大の図書館はどうか……。

泰国に旅行したとき、夏休みであったが、学校の図書館は満員の盛況であったから、聞いてみると、教育学部の学生は夏休みアルバイトを禁止されているとのこと、政府（国）から4万円をもらう代りにアルバイトは禁止されているのを聞いて感心したり驚いたりしました。本学学生はアルバイトに熱中し、少しでも高い店に少しでもいい長野県の山荘へと、またいい家庭教師なりを血まなこになって探し求めているのではないか。それを図書費に当てるのでなく、北海道旅行や外国旅行への資金に充当する学生もいるとかにやに聞いています。

3 日本（東）と英国（西）

東洋と西洋とは生活様式も異なり、言葉も違うことは知られているが、英国で出版された日本語版になった本が日本に上陸したとたんに販売禁止になることである。「チビッコ紳士録」がそれである。読みたい方には貸して上げますよ。

これは東西のあれこれである。

文章表現のアヤというものだろうか。

4 私の自慢出来る蔵書が1～2編あるので紹介させていただきます。

1冊はOsborn（オスボーン）H. F.の著で、アメリカ自然科学博物館から出された（1942年）上下二巻もので世界の旧象が約240種記載されている。時価で2冊100万円以上である。文部省科学研究費で購入した若かりし頃の思い出の本である。この本のおかげで本校30周年記念のレポートを書く自信を得たのである。

学問するには金をつぎ込めと「モノ」「もの」申したい。

もう一冊が「中国人類化石の発現と研究」である。それは中国原人第一箇頭蓋骨発現25周年記念会報告専集であり、著者は次の如く。

郭沫若、楊鍾健、斐文中、周明鎮、吳汝康、賈蘭坡

1955年10月第1版（1955年第一

次印刷）字数が68,000で科学出版社である。

編集者は中国科学院古脊椎動物研究室である。

北京原人（シナンドロプス・ペギネンシス）の発掘の模様や一緒に出土した獣骨や石器について写真入り図入りで詳しく紹介されている。北京原人の模型を県立博物館に頂いたとき一緒に参考資料としてもらった貴重なもので、現在北京原人の化石は全部行方不明になっているからおさら私の大切な本の一つである。

以上、図書に関する4件につき舌足らずながら私なりに書き下したので、よろしく御高配承りますれば幸甚であります。

読書について

竹川郁代（専攻科学生）

読書の時間をもつことは、最近、滅多にない。私達の毎日が、非常に多忙であるということは、その理由にはならないだろうが、なんとなく気ぜわしく毎日が過ぎて行くような気がする。私は、本当にゆったりした時間を持ちたいと切に願う。しかし、自由に使える時間は自分で作り出そうとしなければ与えられないものであり、忙しいといっても社会人に比べ、学生である私達は、時間的にもめぐまれた環境にあると思う。

最近、私達の世代は、自由な時間ができれば、テニス、サーフィンなど、体を動かすことに費やす傾向がある。それはそれで、健康的でよいことだと思いが、その自由な時間を、何回かのうち1回でも読書にあててみたらどうだろうか。心に余裕が生ずるだろうし、また、自分の知らない世界に触れ、視界が一つ広がる可能性があるのではないか。そして、心に余裕を持った人間は、自己自身を見失うことなく、客観的に自己の姿を眺めることもできるようになるだろう。

とかく、視聴覚文化に浸りやすい私達は、読書のすばらしさを、ここで改めて、考え直して

みる必要があるのではないかと思う。

私と児童文学

田口悦子(専攻科学生)

子どもというのは、とても小さな事にも感動し、その思ったまま、感じたままを口に出し、実に純粋なものである。

大人も本来は、子どものように素直に振舞うことを望んでいるのではないかと思われる。

しかし現実の問題として、社会の中で生活している大人ならば、思った事すべてを発言し、仕事の途中でいちいち小さな事に感動ばかりもしてられない。その挙句多くは、昔自分が子どもであった事を忘れてしまっているのではないかと思われる。しかも、子どもでさえも、むやみに大人ぶることに煩わされて、物事をそのあるがままに見ることなく、子ども心のあどけなさをじっくりと味わわないうちに大人になってしまっている気もする。

しかし、本来子どもの持っている曇りのない目でしか見えない美しいもの、大切なものも多くあるはずである。

私は、パラパラと本をめくって、子どもの心で書いた詩を読んだり、30分もあれば読んでしまいそうな大きな字の童話を読むのが好きである。自分もこんな事を考えていたことがあったなあと思ったり、なにか心が、純粋なものと出会うことによって洗われる思いがするのである。また、これらの本が、曇りかけている目を少しでも磨いてくれるのではないかという気もするのである。

こういう読書は、様々な問題について、悩み、自分で考え、そしてそこから進歩するという読書とは違って、子どもの世界に浸るといふ安易な読書かもしれない。

しかし、それで終つてしまうものではなく、現実の世界に戻った時に、いつの間にか物を見る目が変わった。とそんな思いを持つこともしば

しばである。サン＝テグジュペリが、子どもにはなく、ひもじい、寒い思いをしている大人、昔一度は子どもだった大人、であるレオン＝エルトに童話を捧げた意味がわかるような気がするのである。

今、子どもの純粋性に触れる機会の少ない私にとって、児童文学や子どもの詩集というのは、それに触れる大切な媒介の一つとなっているのである。

新規受入図書案内

総記(000)

経済学とは何だろうか(新書、黄、182)

佐和 隆光

虫歯はどうしてできるか(新書、黄、183)

浜田 茂幸

原爆に夫を奪われて(新書、黄、184)

神田三亀男

徒然草を読む(新書、黄、185)

永積 安明

人間の生と性(新書、黄、186)

近藤 四郎

日本文化史(新書、黄、187)

家永 三郎

関節炎と神経痛(新書、黄、191)

佐々木智也

西部開拓史(新書、黄、192)

猿谷 要

小説はいかに書かれたか(新書、黄、193)

篠田浩一郎

超常識の方法

小室 直樹

デジタル思考とアナログ思考

渡辺 茂

日本の図書館1981

日本図書館協会

現代図書館分類法概論

J. ミルズ

大学生と図書館

日本図書館協会

図書館と国際障害者年

日本図書館協会

丸善百年史 上、中、下

丸 善

Year's Book

日本図書館協会

日本の白書

日本情報教育研究会

全国短期大学紀要論文索引(人文科学、自然科学、索引)

図書館科学会

選定図書総目録1982

日本図書館協会

世界大百科年鑑1981, 1982

Grand Dictionnaire Encyclopédique Larousse.
I
朝日年鑑 1982
世界年鑑 1982
スキングラスな時代 松浦 総三
朝日新聞縮刷版 1982. 1-4
中日新聞縮刷版 1972. 1-1976. 12

哲学・宗教 (100)

哲学事典
瞬間と持続 G. バシユラール
生きる根拠を求めて 鈴木 亨
キルケゴールの講話遺稿集 9. S. キルケゴール
Sören Kierkegaard Samlede Værker 1-21
S. kierkegaard
ニーチェ全集 1-12 ニーチェ
行動心理学と行動療法 A. ブライ
ユング心理学入門 C. S. ホール. 他
フロイト心理学入門 G. S. ホール
言語と思考 J. B. キャロル
思考と言語 上、下 ヴィゴツキー
思考と行動における言語 S. I. ハヤカワ
フロイト: ユング往復書簡集 上 W. マグイア
心理学事典 (新版)
講座現代の心理学 1. 4
フロイト選集 4-17 フロイト
意志と性格の心理学 戸川 行男
女性心理学 服部 正
医療と看護の心理学 三谷恵一 他
現代の超心理学 D. J. ウェスト
超心理の科学 G. フーフィー
超心理の世界 S. マトベエフ
青春をどう生きるか 加藤 諦三
日蓮のころろ 合成 元昭
聖書のことばと日本語 関根文之助

歴史 (200)

日本の歴史 1-12
続 現代史資料 6

描かれた幕末明治 金井 圓
元老院会議筆記 26 明治法制経済史研究所
1848年 シャン. カサー
日本のブレーションマップ 日本ビジネスレポート
国立国会図書館著名典拠録 (追録)

国立国会図書館

社会科学 (300)

日本の条件 1-5 N H K
W. I. Lenin Werke 6. 27 W. I. Lenin
W. I. Lenin Werke Ergänzungsband
W. I. Lenin
マルクスの後進国革命像 淡路 憲治
マルクス・エンゲルスの世界史像 山之内 靖
西欧革命とマルクス・エンゲルス 淡路 憲治
マルクス・エンゲルス全集 補巻 3
マルクス・エンゲルス
三重県警察史 1-3 三重県警察本部
警備業法の解説 全国警備業協会連合会
国際連帯と日中友好運動 和田 一夫
新しい法律家の条件 横川 敏雄
Index to Legal Citations and Abbreviations
D. Raistrick
法令の読解法 田島 信威
法律学概論 (現代法律学全集 1)
井上 茂 他
民法総則 (現代法律学全集 5) 幾代 通
物権法上、下 (現代法律学全集 6)
広中 俊雄
担保物権法 (現代法律学全集 7) 川井 健
債権総論 (現代法律学全集 8)
林 良平 他
契約法 (現代法律学全集 9) 三宅 正男
事務管理・不当利得・不法行為 (現代法律学全
集 10) 四宮 和夫
借地法 上、下 (現代法律学全集 14)
鈴木 祿弥
破産法 (現代法律学全集 24) 山木戸克己
刑法総論 一新版 (現代法律学全集 25)
荘子 邦雄

比較憲法(現代法律学全集 36) 樋口 陽一
 証券取引法(現代法律学全集 42) 神崎 克郎
 社会保障法(現代法律学全集 49) 角田 豊
 英米法(現代法律学全集 55) 望月礼二郎
 国家補償法(現代法律学全集 61) 遠藤 博也
 六法全書 1. 2 昭和57年版 鈴木竹雄 他
 社会保障行政法～社会保障と現代行政法 園部 逸夫 他
 請求権概念の生成と展開 奥田 昌道
 民法講義ノート(1) 泉 久雄 他
 家庭紛争と家庭裁判所 安倍 正三 他
 いざこざを防ぐ遺産対策 森 美樹 他
 商法入門 (1) (2) 河本 一郎 他
 商法概説 (1) (2) 大隅健一郎 他
 犯罪被害給付制度 大谷 実 他
 民事訴訟法 林屋 礼二 他
 Applicable Law in International Commercial Arbitration Julian D. M. Lew
 英和、和英経済用語辞典 長谷川啓之
 経済要覧 1982 経済企画庁
 国民経済計算年報 1982 経済企画庁
 世界経済白書 1981 経済企画庁
 明治大正農政経済名著集 1-24 近藤 康男
 昭和後期農業問題論集 11 近藤 康男
 河上肇全集 3. 9. 13. 19. 20 河上 肇
 Economics in Disequilibrium J. D. Hey
 Essay Economics Vol. 1. 2 W. Leontief
 An Econometric Model of the Export Sector L. A. Winters
 幻想としての経済 栗本慎一郎
 近代経済学古典選集 2. 富の理論の数学的原理に関する研究 クルーノー
 近代経済学古典選集 4. 経済学の理論 ジェヴォンズ
 近代経済学古典選集 11. 価値と価格の理論の数学的研究 フィッシャー

近代経済学古典選集 1. 2. 利子論 フィッシャー
 近代経済学古典選集 1. 3. 貨幣及び流通手段の理論 ミーゼス
 Population and Economic Change in Developing Countries R. A. Easterlin
 資本の時代 I. II E. J. ホブズボーム
 幽霊の解剖 アラン・ブサンソン
 アメリカ経済をみる眼 榊原 胖夫 他
 企業診断ハンドブック 上、下 中小企業診断協会
 学校法人の会計 須藤 章 他
 監査演習 渡部 義雄 他
 会社の決算と開示 アーサー・アンダーセン
 T. K. C 経営指標 1980 T. K. C 全国システム委員会
 会計士とその監査 渡部 義雄
 会計上の不正問題 近沢 弘治
 例解会計監査精義 田島 四郎
 会計監査 森 吉之助
 正規の監査業務 江村 稔
 変動相場制批判 ポール・アインツヒ
 金融政策の理論 龍一郎
 現代社会と生活保障 生命保険文化センター
 現代日本の財政金融 I. II 武田 隆夫 他
 税法便覧 1979 大蔵省主税局
 直接国税課税関係判決要旨集 上、下 国税庁
 地方財政白書 1982 自治省
 地方交付税制度解説 自治省
 統計学入門 I. II 安川 正彬
 世界統計年鑑 第31集 国際連合統計局
 日本国勢図会 1982
 昭和55年国勢調査に用いる職業分類 総理府
 昭和55年国勢調査に用いる産業分類 総理府
 昭和56年事業所統計調査産業分類索引 総理府
 昭和56年度事業所統計調査産業分類 総理府
 比較文化への視角 加藤 秀俊
 日本人の表現心理 芳賀 綏
 沈黙のこぼれ エドワード・T. ホール
 社会政策と財政問題 城島 国弘

社会調査 福武 直
 H E I B ヒープ研究会
 国民生活白書 1981 経済企画庁
 余暇ハンドブック 1982 余暇開発センター
 Employment Law Handbook P. Wallington
 三重県労働運動史 2
 婦人労働の実情 1981 労働省
 就業規則 本多 淳亮
 労働法事典 沼田稲次郎
 労働者の生涯教育訓練 斎藤 将
 最低賃金制論 黒川 俊雄
 日本の最低賃金 藤縄 正勝
 最低賃金法の詳解 村上 茂利
 わが国の最低賃金制 労働省
 最低賃金法の手帳 日経連
 家内労働法早わかり 労働省
 青少年労働問題 氏原正治郎
 労働契約 有泉 亨
 Labour Law C. D. Drake
 Labour Law in Great Britain and Ireland B. A. Hepple
 Employment Law B. A. Hepple
 近代婦人問題名著選集 1-10
 日本女性史 1-4 女性史総合研究会
 現代女性の意識と生活 吉田 昇 他
 婦人の現状と施策 総理府
 図説 家族問題 湯沢 彦彦
 婦人の生涯と社会保障 坂寄 俊雄 他
 青少年白書 1981
 いい先生みつけた 三好 京三
 非行少女の心理 麦島 文夫 他
 新教育心理学事典
 児童心理学ハンドブック
 現代青年の意識と行動 吉田 昇
 高校時代の自己形成 久世 敏雄
 女子教育における裁縫の教育史的研究
 関口 富左
 三重県教育史 2 三重県総合教育センター
 我が国の教育水準 文部省
 教育費と教育財政 伊ヶ崎暁生

教育法学の課題
 家庭科教育法 原田 一
 学校カウンセリング 国分 康孝 他
 中学生の進路指導 渡辺 進 他
 忍耐力を育てる 山下富美代 他
 大学で何を学ぶか 加藤 謙三
 静岡女子短期大学三十年誌 静岡女子短期大学
 三十年のあゆみ 三重短期大学
 鈴鹿工業高等専門学校二十年史 鈴鹿工専
 子殺し、親殺しの背景 中谷 瑾子
 母親剥奪理論の功罪 マイケル・ラクター
 世界の民族と生活 1. 2. 3. 6. 7. 9. 10. 11. 12.

自然科学 (400)

Oscar Zariski Collected papers Vol. 4
 Osacar Zariski
 多変量解析 M. G. Kendall
 多変量解析法 奥野 忠一
 続 多変量解析法 奥野 忠一
 初等統計学 P. G. ホーエル
 確率統計演習 2 国沢 清典
 Spss 統計パッケージ I. 基礎編
 三宅 一郎 山本嘉一郎
 Spss 統計パッケージ II 解析編
 三宅 一郎 山本嘉一郎
 Foundations of Potential Theory
 O. D. Kellogg
 American Chemical Society Publication
 Labaratory quide 1970-1971
 食品用プラスチック衛生学
 厚生省環境衛生局食品化学課
 薄層クロマトグラフィー 第一集、第二集
 原 昭二 他
 酵素利用ハンドブック 相沢 孝亮 他
 現代生物学大系 7C 高等植物C
 山崎 敬
 生体高分子の生合成 イングラム
 ダーウィンとビーグル号 アラン・ムーアヘッド
 人体計測 鈴木 尚
 医学統計数値表 小泉 明 他

Foot Work 足の生態学 鈴木 忠志 他
 自律神経失調症の謎 鈴木 修二
 生理学アトラス Silbernagl, Despopoulos
 言語と大脳 ペンフィールド 他
 脳の言語 K. H. プリブラム
 ゲルマニウム療法 甲斐 良一
 意識 1. 2 アンリーエー
 栄養、食品の化学実験 草間 正夫
 生活の中の栄養学 豊川 裕之
 栄養化学実験書 石川 淳一 他
 最新食品化学 林 淳三 他
 食品化学 桜井 芳人

工学及び家政学 (500)

官能検査ハンドブック

日科技連官能検査委員会

オゾン戦争 1. 2 蝕まれる宇宙船地球号～

L. ドット 他

環境白書 昭和56年版

三重県

日本綿業労働論

進藤竹次郎

新染色加工講座 7. 8. 1 2. 1 3.

浅原 照三

家政学原論

宮川 満 他

家事労働

大森 和子 他

生活様式の理論

吉野 正治

家政学成立史

常見 育男

消費者のための被服学

中野 刀子

服飾事典

田中 千代

裁縫精義 1-7

和服 ～平面構成の基礎～

立体裁断

小池 千枝

ディスプレイ・テクニック

大橋 雅子

和裁講座 前・後編

大妻コクカ

被服整理と染色

平沢 猛男 他

新版・被服整理

松川 哲哉

小物手芸百科

暮らしの中の刺繍

文化出版局

新しい刺しゅう

中山富美子

刺しゅうの基礎

手あみの基礎

結び方手帳

藤原 覚一

袋もの技法～デザインと制作～ 三枝 泰造
 パッチワーク・キルト 野原チャック
 アメリカン・パッチワークキルト独習書

ミコ 岡田

三重県の伝統料理 三重フィールド研究会

産 業 (600)

日本産業資料大系 1-12 瀧本 誠一 他

日本産業資料大系 索引 瀧本 誠一 他

希望の泉 II 名古屋放送社史編集委員会

貨物輸送の自動車化—戦後過程の経済分析—

村尾 質

市場調査の手引き 林 知己夫 他

市場調査の計画と実際 林 知己夫 他

芸 術 (700)

日本の美術 190 縄文時代Ⅱ(中期)

土肥 孝

日本の美術 191 縄文時代Ⅲ(後期・晩期)

金子 裕之

日本の美術 192 弥生時代 木下 正史

日本の美術 193 正倉院の木工芸

関根 正隆

中国工芸美術叢書 貴州苗族刺繡

中国美術家協会貴州分会

中国工芸美術叢書 貴州蠟染

中国美術家協会貴州分会

L, occident Romantique 1789-1850

E. De. Keyser

新体育学講座 78 統計解析学 I

大石三四郎 他

語 学 (800)

言語と精神

N. チョムスキー

現代言語学の基礎

N. チョムスキー, M. ハレ

文化人類学と言語学

E. サビア, B. L. ウォーク 他

言語と非言語 白根 孝之
 言語と哲学 J. J. カッツ
 話しことばの科学
 ピーター・B. デニシュ、N. ピンソン
 文法理論の諸相 N. チョムスキー
 誤訳・悪訳の病理 横井 忠夫
 講座 言語・第6巻 世界の言語 北村 甫
 漢語のすすめ 相原 林司
 ことわざ大辞典 尚学図書
 故事ことわざ辞典 鈴木 棠三 他
 続 故事ことわざ故典 鈴木 棠三
 コンサイス外来語辞典 三省堂編修所
 隠語辞典 榎垣 実
 レトリック認識 佐藤 信夫
 公用文の書き表し方の基準(資料集) 文化庁
 英語史 アルバート・C. ボー、トマス、ケイブル
 英語らしさと日本語らしさ 田辺 洋二
 あなたの英語診断辞典 松本 安弘 他
 英語表現活用辞典 新島 通弘
 Brewers Dictionary of Phrase and Fable
 I. H. Evans
 アメリカ新語辞典 高部 義信
 米英俗語辞典 ドナルド・キーン 他
 Dictionary of American Slang
 H. Wentworth S. B. Flexner
 アメリカ英語の語法 小西 友七
 Dictionnaire des Difficultes de la
 Langue Francaise A. V. Thomas
 英語類語辞典 スコット・フォースマン
 英語を書く 笹井 常三 他
 ユーモア英語表現法 トミー 植松
 直訳という名の誤訳 東田 千秋
 英字新聞の読み方 本名 信行
 日本語らしい表現から英語らしい表現へ
 E. G. サイデンステッカー 他
 英語でなんというか 藤田 孝 他
 英文経済コラムを読みとる 金子 節 他
 Aguide to Literary study
 L. T. Dickinson
 Oddities in Modern Japan Peter Milward

文 学 (9 0 0)

世界批評大系 1-6 篠田 一士
 中原中也の復活 藤原 明夫
 燃えて生きよー平林たい子の生涯 戸田 房子
 君は海を見たか 倉本 聰
 わが青春のとき 倉本 聰
 阿修羅のごとく 向田 邦子
 春の戴冠 上、下 辻 邦生
 複合汚染への反証 岩本 経丸 他
 複合汚染 上、下 有吉佐和子
 女の一生 一部、二部 遠藤 周作
 開幕ベルは華やかに 有吉佐和子
 青い棘 三浦 綾子
 城の中の城 倉橋由美子
 人間万事塞翁が丙午 青島 幸男
 吉里吉里人 井上ひさし
 戯作者銘々伝 井上ひさし
 源氏紙風船 田辺 聖子
 北の人名録 倉本 聰
 画狂人 北斎考 矢代 静一
 悪魔の飽食 森村 誠一
 老舎小説全集 2. 3. 5. 6. 7. 中山 時子 訳

ベスト・セラーズ

名古屋 ちくま正文館
 1位 プロ野球を10倍楽しく見る方法
 2位 はてしない物語 M. エンデ
 3位 日本の書票 海野 弘 他
 大阪 旭屋書店
 1位 プロ野球を10倍楽しく見る方法
 2位 「松下経理大学」の本 樋野 正二
 3位 忘れ得ぬ同志 池田 大作
 東京 新宿 紀伊国屋書店
 1位 プロ野球を10倍楽しく見る方法
 2位 副じん強化こそ鼻アレルギー根治のす
 べて 西田 達弘 他
 3位 はみだし空手 東 孝